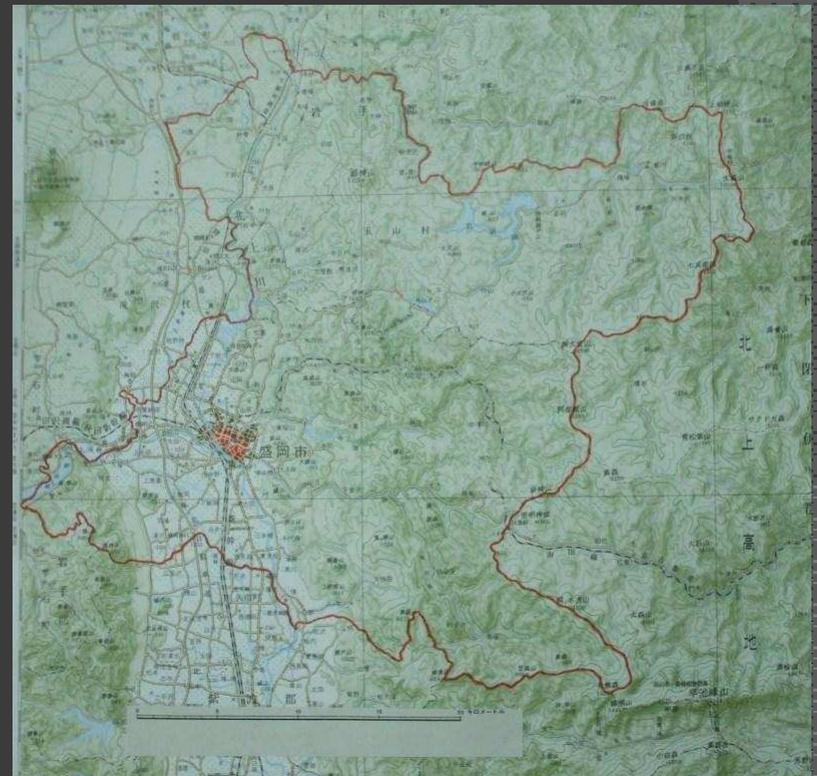


盛岡市の歴史文化基本構想

1 盛岡市の特性

- ・ 北上盆地北部で内陸性気候（夏と冬、昼と夜の寒暖差大）
- ・ 旧石器時代以後間断なく人々の生活が営まれる
- ・ 縄文～中世末までは南北文化の境界
- ・ 交通の要衝（諸街道の結節点・北上川舟運の起点）
- ・ 町と村、山村の文化



3 歴史的テーマと関連文化財

テーマ	関連文化財群	主な文化財
文化の境界と交流	大館町遺跡と縄文文化	国重文繫遺跡深鉢形土器 県史跡大館町遺跡他
	志波城と古代のムラ	国史跡志波城跡 市史跡高館古墳他
	安倍氏から藤原氏	厨川城跡，安倍館七不思議 内村遺跡大甕，一本松経塚と渥美壺
	中世城館と領主	市史跡玉山館跡，市文化財鰐口 厨川城跡，板碑他
	盛岡城と城下町	国史跡盛岡城跡 国重美上ノ橋青銅疑宝珠他
山河に根ざしたくらしと祈り	県都盛岡の発展	国重文旧盛岡銀行本店， 第九十銀行本店，紺屋町番屋他
	商家と街道筋のくらし	県文化財木津屋池野家住宅 市無形舟っこ流し他
	農業の発達と農村文化	鹿妻穴堰跡， 県無形上鹿妻念仏剣舞他
	山里の景観と信仰	筑波寺跡， 県文化財十一面観音像他

4 保存活用の考え方

(1) 保存について

盛岡市の歴史文化を語る上で、重要な文化財を後世に伝えるという観点から、関連文化財のなかで、その中核をなす文化財、或いは内容的に必要不可欠な文化財については、文化財保護法や、県、市の文化財保護条例に基づく指定制度を活用し、確実に保存を図る。

(2) 活用について

- ① 文化財の周知（文化財マップ、説明板整備）
- ② 教育普及（市民・小中高校生他）
 - ・ 博物館施設拠点に展開（盛岡市遺跡の学び館・もりおか歴史文化館）
- ③ 市民生活との関わり（地域住民による文化財の環境保全・ボランティア活動等）
- ④ 庁内関係部局との連携
（都市計画，景観，農業振興，観光等）

5 保存活用計画区域の考え方

1 保存活用対象範囲

モデル地区や関連文化財群のうち，歴史的テーマや特徴に副って保存活用が考えられる（想定される）範囲。

2 保存活用計画区域

指定文化財や指定史跡などを中核に，関連文化財が集中するなど，保存活用対象範囲の中核でありテーマや文化財の性質から積極的に保存活用を計画推進する区域。

保存活用対象範囲と保存活用計画区域の一例 「盛岡城と城下町」「県都盛岡の発展」

